

報道機関各位

令和4年 年頭所感

令和4年、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症への対応が2年目となり、春からワクチン接種、オリンピック・パラリンピックの開催、そして緊急事態宣言といった、緊張と緩和を繰り返し、本当に落ち着かない不安の続く日々でした。そのような中でも葉山町の皆様は施設の閉鎖や利用制限、夏には急な宣言による海水浴場の閉鎖、商店の営業自粛などに粛々と滞りなく応じてくださいました。また、オリンピックでは多くの町民サポーターがイギリスチームのためにバブル方式の中で陰ながら活躍していただき、前向きな日々を過ごして下さったと感じております。

一方で、救急の受け入れやワクチン接種などコロナ対策の最前線では、各医療機関と消防の連携や医師会、薬剤師会及び福祉関係機関の皆様のご尽力もあり、時には苦しいときもありましたが、逗子・葉山連携のもと、皆様の生命を守るために着実な事業遂行を行うことができました。そして施設においてもクラスター等発生させることなく、その予防活動もご判断のうえ効果的に対応して下さったこと、深く感謝しております。

現在、オミクロン株による第6波の警戒が高まっていますが、少しずつ治療薬開発の進展もあり、その影響は激化することなく治まるものと期待しています。そこで本年はパンデミックの終結とアフターコロナを見据えた行政事業の推進を目指し、新年を迎えました。まずは2月から始まるワクチン3回目接種事業や国の子育て世帯、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金の迅速な給付事務を完遂します。そして、町としてはこれまで2年間、内部検討を進めてきた公共施設の再整備に向け、いよいよ動き始めます。下水道事業については10年概成の前倒し、官民連携をベースとした新しい管理運営体制の構築を図ります。クリーンセンター再整備事業においては施設解体と生ごみ資源化事業の開始に向けた業務契約を結び、4月の事業開始を目指します。そして学校関連では葉山中学校のトイレ改修や南郷中学校体育館の雨漏り修繕、中学校給食開始に向けた準備も行います。また両中学校の部活動支援のため、吹奏楽部などの備品整備も行い、学習環境の向上に力を入れるとともに、小中一貫教育の議論も始めます。他にも、地域にある児童公園の再整備に向けた計画策定を行いつつ、配置の最適化や遊具のインクルーシブ化を図ります。今年こそは我慢の連続だった日々の暮らしに、しっかりと希望と笑顔の光を灯せるよう、政治が積極的なリーダーシップをもって責任を果たしてまいりたいと思います。

3年後の2025年には葉山町制施行100周年を迎えます。その時に向け、気持ちと行動を一つにできるよう、今から準備を行わなければなりません。アフターコロナの取組みは、まずは皆様と会って対話すること。そしてこれまでの議論に地域の皆様の声を含めて形にすべく、100年を振り返る活動、そして100年を皮切りに始めることを明確にしていきたいと思っております。「対話」をテーマに皆様とともに進めるまちづくりのため、葉山のアフターコロナを元気にできるよう全力で臨んでまいります。

令和 4年 1月 6日
葉山町長 山梨 崇仁